

# シルバー やまがた

第115号 平成26年7月1日発行 (公社)山形市シルバー人材センター広報部会  
正会員数 878名 賛助会員 47個人・50団体(6月末現在)



長瀬理事長あいさつ(広報部撮影)

## —— 内容紹介 ——

- |      |                                   |     |                        |
|------|-----------------------------------|-----|------------------------|
| P2   | 平成25年度 事業実績報告                     | P8  | 地区班の編成                 |
| P3   | 平成26年度 課題と事業予算                    | P9  | 地域紹介「わが街自慢」            |
| P4   | 平成26年度定時総会あいさつ<br>表彰状受賞者          | P10 | 安全・適正就業強化月間<br>女性部会だより |
| P5   | 就任のあいさつ<br>新旧役員紹介<br>平成26年度年間事業計画 | P11 | 就業会員を訪ねて<br>新入会員紹介     |
| P6～7 | 会員のひろば                            | P12 | 事務局だより                 |

# 平成25年度 事業実績報告

## 派遣事業への切り替えにより、契約金額は3千42万2千円減

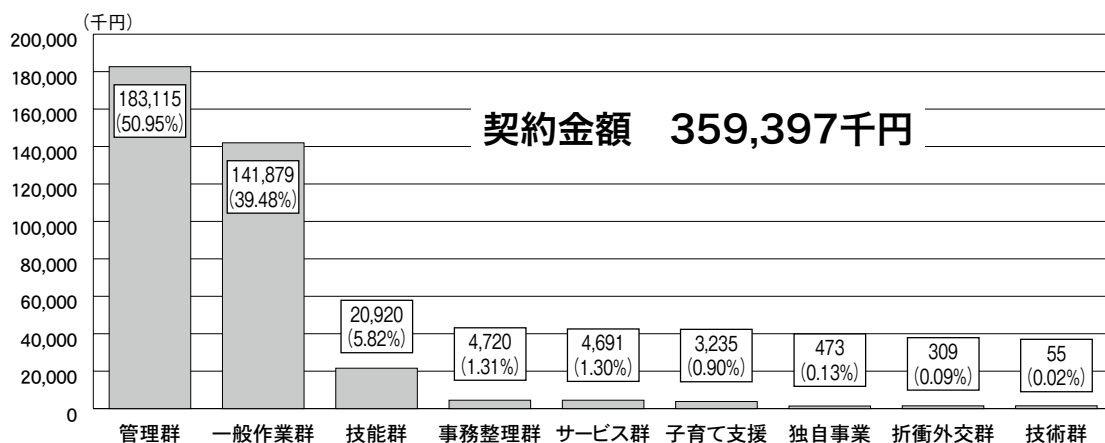
平成25年度の山形市の高齢化率（総人口に占める65歳以上人口割合）は25.6%となり、超高齢社会の指標である25%を超えました。国立社会保障・人口問題研究所が公表した「日本の地域別将来推計人口」では25年後の山形市の高齢化率を36.9%と推計しています。このような状況を踏まえ、高齢者の就業を確保し、社会の担い手の一員として活躍することを求められるシルバー事業の役割は、一層重要になると思われます。そのような中、当センターの平成25年度末の正会員数は増加に転じました。また、契約の一部が請負から派遣事業に切り替わったことにより、契約金額と就業延人員は減少しましたが、受託件数は前年度を上回りました。

【平成25年度実績（前年度比較）】

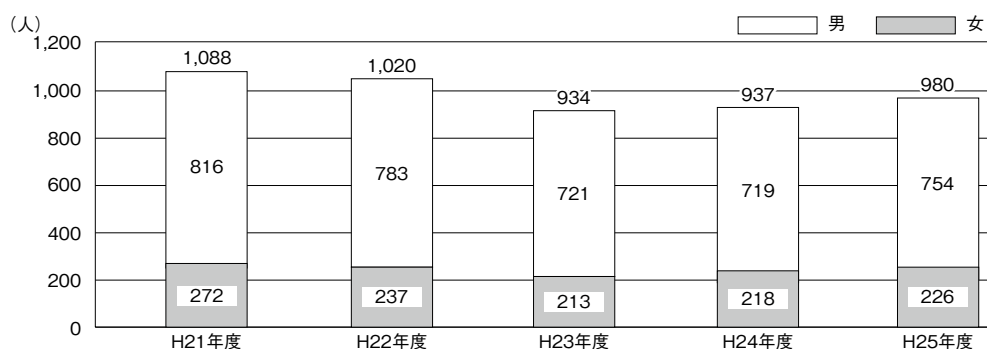
項目	25年度実績	24年度実績	比較
正会員数	980人	937人	43人
契約金額	359,397千円	389,819千円	△30,422千円
就業延人員	119,725人	120,218人	△493人
受託件数	4,362件	4,270件	92件

平成25年度末の正会員数は、43人増の980人となりました。契約金額は、派遣事業への切り替えの影響で3千42万2千円減の3億5千939万7千円、就業延人員は119,725人となり、前年度を下回りましたが受託件数は4,362件と昨年度より増加しました。（詳しくは平成26年度定時総会議案書をご参照ください。）

### ① 職群毎事業実績



### ② 年度別会員数の推移



# 平成26年度 課題と事業予算

## 会員増と就業機会の拡大を重点課題に

昭和22年から24年生まれのいわゆる団塊の世代が65歳を迎え、さらに高齢人口の増加が加速し、まさに超高齢社会を迎えたといっても過言ではありません。厚生労働省の「生涯現役社会の実現に向けた就労のあり方に関する検討会」では、高齢者を「自らの技能や知識・経験を活かして地域社会や労働力を支える担い手」として、さらに「社会的に活躍・貢献することが期待される存在」として位置付けるとともに、シルバー人材センターの更なる活用を提言しています。

しかしながら、地方経済の回復が顕著にならない中、受注実績は大きく伸びず、さらには過去2年間にわたる国庫補助金の削減や運営費補助金の一部が事業費補助金となる等、シルバー人材センターを取り巻く環境は極めて厳しい状況となっています。このような状況を打破するためにも、「自主・自立、共働・共助」のセンターの基本理念を堅持しつつ、一層の機能強化と効率的な事業運営に努めていかなければなりません。

今年度は、公益社団法人として、市民や地域社会の期待に応えられるよう次の七つの事項を重点に事業に取り組んでまいります。

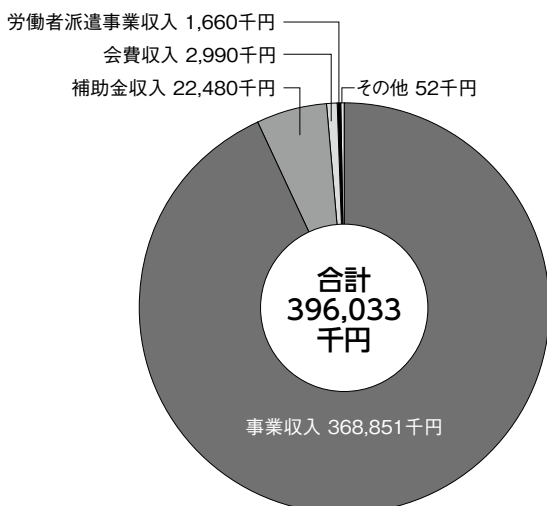
(事業計画や予算等、詳しくは平成26年度定時総会議案書をご参照ください。)

### ① 重点課題

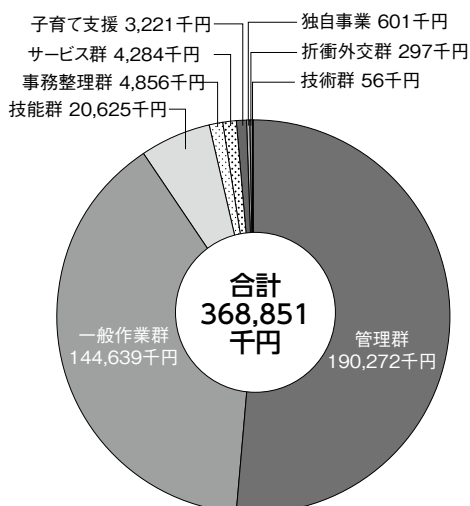
1. 新入会員増と退会会員減少の防止策への取組み
2. 就業機会の拡大への取組み
3. 会員組織の整備と充実及び活性化
4. 子育て支援事業への取組み
5. 安全就業推進体制の強化
6. 公益社団法人としての機能強化への取組み
7. 経営の効率化と財源の確保



### ② 平成26年度予算(収入総額)



### 事業収入内訳



# 平成26年度定時総会あいさつ

理事長 長瀬 洋男

山形市シルバー人材センターは公益社団法人に移行してから三年目を迎えました。この間、会員の皆様と共に安全・適正就業の徹底に向け努力して参りました。会員数や受注実績も堅調に推移しているところでございます。これも偏に会員の皆様や賛助会員の皆様、そしてご来賓の方々のご理解、ご指導の賜物とまざまざと深く感謝申し上げます。

さて、昨年六月に厚生労働省が招集した「生涯現役社会の実現に向けた就労のあり方に関する検討会」が報告書を出しました。その中では、高齢期の就労・社会参加に向けた意識改革ときっかけづくり、「社会人」から「地域人」としての地域の支え手としての高齢者の位置付け等に具体的な提言を行っています。これは高齢者の生きがいづくり、働く意欲をもった高齢者がこれまで培った能力や経験を活かして生涯現役で活躍できる社会づくりを目指すとするものですが、今後のシルバー人材センターの目指すべき方向の一端を指し示すものであります。

当センターを取り巻く環境も、この四月からの消費増税の動きや

国の補助金が削減されるなど、経済的には依然として厳しいものがあります。派遣事業を含めて受注実績が回復の傾向にあり、市川市長の施政方針の一つである子育て支援事業につきましましては、山形市単独の補助金を設けていただきながら事業を継続する中で、「めんこいひろば」利用者は年々増加の傾向となるなど、明るい兆しも見えております。

また、会員数も前年度比で四十三人増の九八〇人となりました。今年四月一日の会報第百十四号にも寄稿しましたが、一人の会員が一人の新人会員を勧誘し、一人の会員が一つの新規就業先の開拓を行う山形方式の「一…一（イチイチ）運動」が全国シルバー人材センター事業協会から評価をいただき、全国的に停滞しているシルバー会員の増員運動のモデル事業として取り上げていただくことになっております。

終わりにシルバー人材センターの基本理念であります「自主・自立、共働・共助」の精神に則り、地域の皆様からさらに信頼される魅力あるシルバー人材センターを目指し、事業運営に取り組んでまいりる所存でありますので、重ねて関係各位のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

## 表彰状受賞者

### 1 会員表彰 (42名)

会員として5年以上在籍し、積極的に就業に励み顕著であり、地区研修会や、センター主催の研修会等に積極的に参加されている方で70歳を超えた方 (敬省略)

地区名	氏名	地区名	氏名
第1地区	菅野 幸子	鈴川2地区	深瀬 英雄
第6地区	内田 勝男		小林 桂子
	鈴木 驍	鈴川3地区	阿部 一雄
西地区	小関 正志		中條 繁喜
第8地区	渡邊 剛	東沢地区	藤田 靖久
	臼井 桃代		斎藤 文
	鈴川1地区		鈴木 初江
佐藤 孝子			矢代 鉄也
鈴川2地区	布施与志雄	滝山1地区	高橋 英兆

地区名	氏名	地区名	氏名
滝山1地区	菅野 好和	蔵王地区	志田 豊昭
	丹野千代子		佐藤 啓
金井地区	吉田 孝		丹野 弘
	井上 功	菅江 光男	
山寺・高瀬地区	栗原 京子	南山形・本沢地区	長澤 勝紘
楯山地区	石山 晃子		堀野 建夫
	地藤 隆		渡辺 三吉
蔵王地区	高橋 秀一		南沼原地区
	樋口 猛	児玉 次郎	
	鈴木 生子	柏倉 弘治	
	新関すみ子	吉田 正	
	佐藤 直		渡辺 正明

# 就任のあいさつ

常務理事兼事務局長

笹原 信之



本年四月に  
山形市シル  
バー人材セン  
ター事務局長

として採用され、六月十一日開  
催された平成二十六年度定時総  
会においてご承認いただき常務  
理事に就任いたしました。

世界に例を見ない速さで進展  
する我が国の少子高齢化社会の  
中で、平成二十七年には四人に  
一人が六十五歳以上になると推  
測されていますが、山形市にお  
いては平成二十五年十月の推計  
人口では既に高齢化率が二十  
五・六％になっています。

また、シルバー人材センター  
を取り巻く状況は、地方経済の  
回復が顕著にならない中、受注  
の停滞や過去二年間にわたる国  
庫補助金が削減されるなど極め  
て厳しい状況になっています。

このような中、高齢者の方々

が長年の経験で培った知識や技  
能を活かして、地域の支え手と  
して活躍され、また就業を通じ  
て自らの生きがいを見出すこと  
は大変重要なことであり、「自  
主・自立、共働・共助」を理念  
としたシルバー人材センターは  
高齢化社会を迎えた現代にとつ  
てはとて大きな役割を果たせ  
る組織であると思います。

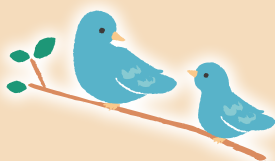
そのためにも会員の増強と就  
業機会の拡大に向けた「一…一  
(イチイチ)運動」の浸透を図  
るとともに、退会会員の減少策  
や、会員組織の整備と活性化に  
向けた取り組みを重点施策とし  
て進めていく必要があると感じ  
ています。

これまで、先輩方が築いてこ  
られました山形市シルバー人材  
センターの歴史と実績を守ると  
ともに、会員の皆様方のご指導  
とご協力を賜りまして、当セン  
ターの更なる発展に微力ですが  
います、尽力してまいります  
のでよろしくお願いいたします。

## 平成26年度年間事業計画

### 事業内容

- 4月 自転車即売会
- 5月
- 6月 平成26年度定時総会、世話役会
- 7月 全国安全就業強化月間、安全標語募集  
安全パトロール、自転車即売会
- 8月 安全講習会
- 9月 世話役会、地区研修会、新入会員研修会  
清掃奉仕活動、自転車即売会、バザー
- 10月 全国普及啓発促進月間、職群講習会  
自転車即売会
- 11月 創作品展示即売会
- 12月 世話役会
- 1月 職群講習会
- 2月 新入会員研修会
- 3月 世話役会、自転車即売会



## 新旧役員紹介

### 退任理事

栗原啓市
伊藤博夫
阿部直美

### 新任理事

鞠子克己
栗原浩一
笹原信之

### 健康セミナーに参加して



滝山第一地区  
菅野 好和

去る四月十八日、仙台の社会保険病院副院長で整形外科医の村上栄一先生の講演会に参加する機会がありました。

木々が春には芽吹き秋には葉が落ちることが人間の生涯と似ている。「人は年をとればとるほど外見と中身が一致する」人は年とともに中身が外見に現われてくること、多

くの患者を診察する中で感じるはその人の長年にわたる生活習慣が病気を作っていることが多いという点です。特に人の支えが必要になる高齢期を迎えると、生き方そのものが問われる時が必ずやって来る。人に感謝して生きてきた人は医者やナースに感謝して死んでいく。そうでない人はそれなりにと。別の観点で見

る時、年をとれば皆、一様に老けていくのかというとそんなことはありません。中には年とともに若々しくなっていく人もいます。ではどうすればいいのか。感謝と生きがいを持って人に尽くす活動であり自らの人生に対する確信を強く持つことであると考えられます、とのことでした。

### グランドゴルフと家庭菜園



南沼原地区  
佐々木 守

私は定年退職後、旧学校給食センターのボイラー管理員として六年勤務し、まだ気力・体力とも自信があったので、シルバー人材センターに入会、まもなく老人施設の宿日直

の仕事に就かせてもらい、三日に一日の勤務で四人でローテーションを組んで働いています。体力を維持するため、またボケ防止に地区のグランドゴルフ愛好会に入会し週三回親睦と健康のため練習を楽しくリフレッシュしています。また、暇を見つけては少しばかりの家庭菜園で付した無農薬野菜を収穫したのを食べた孫から、じいちゃん、ばあちゃんを作った野菜、甘くておいしいと喜ばれると二人とも何よりの励みになり希望がわいてきます。グランド

### 高瀬地区の見どころ



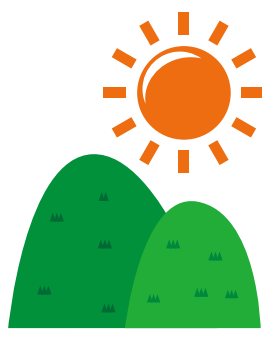
山寺・高瀬地区  
安孫子眞一

ゴルフと家庭菜園を楽しみながら、今後ともシルバー人材の仕事頑張っていき、「白寿を目指し」人生を謳歌、日々明るく過ごし「せっかく一緒にあった夫婦」いい終わり方をしたいと思っています。

高瀬地区山懐に二口峠という所があります。鎌倉時代の弘安二年、一向上人がこの地を通り、峠のふもと高沢で杖を地に刺したのが根を張り、杉の木になったという伝説があります。それが現在巨木となり「さかさ杉」(開山杉)となっており、ここ高沢の清雲寺は一向上人により開基された寺であります。それよりさかのぼり斉衡三年(八百五十六年)、二口峠を越えた慈覚



つながり



# 多員の

## 健康・趣味

大師は三宝岡に「風立寺」を建立さ

れました。風立寺は三宝岡の「生き

如来」として、また「安楽往生」の

信仰として霊験あらたかな阿弥陀如

来であります。この阿弥陀如来は慈

覚大師が白檀の香木を用い、一刀三

礼のもと刻したまれに見る秀作。さ

らに一寸八分の胎内仏は目にもまば

ゆい黄金仏として広く信仰を集めて

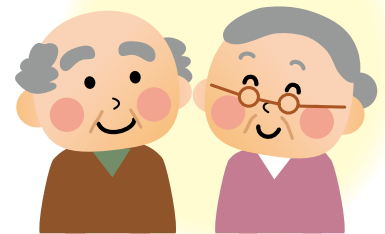
いる寺で、近隣近在より「コロリ観

音」と慕われ多くの参拝者が訪れて

います。

シルバー会員も是非参拝されます

ようお待ちいたします。



### 会計を担当します



第六地区  
内田 勝男

原稿の依頼に対し、山歩きの楽し

さなど、里山クラブのことでもと思

いましたが、このごろ、多くの時間

を割いている町内会の金勘定につい

てひとこと。二月末、会長さんら

来られて、会計部長が年齢的に限界

なので、代わってとのこと。未経験

で、簿記の「ボ」の字もわからない

と断ったが、自分のやり方で大丈夫

などと説得されてしまいました。

いつか「それと決まったら、くど

くと言わずに、自分から望んで就い

たようにしなさい」と言った人がい

ました。私も、せいぜい役目を楽し

もうと思います。年度初めの今は、

集金された会費が次々と届き、銀行

通い。請求書も方々から舞い込んで、

支払い。間違つて人に迷惑をかけて

は失礼と心配しながらも、その時は

直せばよいとの思いでいます。業務

を始め、町内あちこちに出かける

ことも、また、来訪者も増加。最近、

顔見知りが多くなったなあなどと感

じながら、家族みんなの応援も得て、

少し頑張っているところです。

### マイペース



第四地区  
武田 義晴

数年前までは、「趣味は何です

か」と問われると、「趣味は格別な

いな」と言ってきたような気がする。

退職後暇を持て余していた所、近

所の人のアドバイスもあり、シル

バー人材センターに入会し、今年よ

り就業させて頂き、今までは違つ

た人々との交流ができ、仕事は勿論

のこと、趣味に至るまで、公私とも

にお世話になり大変感謝しています。

以前に霞城セントラルで「山形市

ウォーキングマップ」を頂き、散歩

は、体に負担をかけることなく運動

不足解消や、病気の予防を行うこと

ができるメリットがあるとの記載を

目にし、できるかぎり毎日霞城公園

を散歩するように心がけています。

普段は気が付かない季節の移り変

わりを肌で感じながら、マップを片

手にウォーキングコースを散歩する

ようになり、いつもは何気なく見過

ごしている風景や街の変化を再発見

できることの魅力に感じつつ、いつ

の日か全コースを歩いてみたいと思

じているこの頃です。

## 地 区 班 の 編 成

前号（114号）でもお伝えした通り、平成25年度に地区班の円滑な運営を行うため区域の見直しが行われ、4月より以前の25地区から28地区へ地区数が増加する等地区班の再編成が行われました。今号ではどの住所がどの地区に該当するのか、地区班の編成についてお知らせします。

地区名	町 名	地区名	町 名	地区名	町 名
第 1	香澄町 1～2 木の実町 桜町 十日町 1～2 七日町 1～2 本町 1～2	鈴 川 2	青野 上山家町 早乙女 下山家町 鈴川町 1～4 大師堂 1～4 大野目 高原町 沼の辺町 浜崎 穂積 山家町 1～2 山家本町 1～2 芳野	大 郷	今塚 沖町 北田 境田町 三社 下田 白川 高田 壇野前 天神町 中野 銅谷口 樋越 藤治屋敷 七十刈 西中野 船町 見崎 見崎川原 向新田
第 2	五日町 上町 1～5 香澄町 3 幸町 十日町 3～4 双葉町 1～2 八日町 1～2 若葉町	鈴 川 3	五十鈴 1～3 印役町 1～5 花楸 1～2		
第 3	円応寺町 銅町 1～2 宮町 1～5 薬師町 1～2	千 歳	泉町 落合町 千歳 1～2 長町 長町 1～4 平久保	山寺・高瀬	大森 風間 上東山 切畑 こも石 下東山 高沢 立谷川 1～3 中里 山寺
第 4	相生町 大手町 七日町 3～4 錦町 旅籠町 1～3 緑町 1～2 六日町	飯塚・樫沢	飯塚口 飯塚町 石関 金石田 上樫沢 黄金 志鎌 下樫沢 砂田 砂塚 千代田 天神台 中沼 西崎 西原 1～2 西見田 平田 宮浦 やよい 1～2 横道	楯 山	青柳 上柳 栄原 下柳 十文字 千石 近田 寺西 塔の前 西越 花岡 流通センター
第 5	あこや町 小姓町 諏訪町 1～2 七日町 5 東原町 1～4	東 沢	上宝沢 下宝沢 釈迦堂 関沢 滑川 新山 防原町 松波 4～5 妙見寺	蔵 王	飯田 1～5 飯田西 表蔵王 蔵王飯田 蔵王上野 蔵王温泉 蔵王成沢 蔵王半郷 蔵王堀田 蔵王松ヶ丘 蔵王西成沢 蔵王南成沢 蔵王山田 桜田東 1～4 桜田西 1～5 桜田南 成沢西 東半郷 南半郷
第 6	あずま町 荒楯町 1～2 寿町 小荷駄町 末広町 鉄砲町 南栄町 1～3 三日町 1～2 南原町 1 南一番町～南四番町 美畑町	滝 山 1	岩波 中桜田 1～2 小立 1～3 上桜田 神尾 土坂 八森 東青田 1～5 平清水 松山 2～3		
第 7	北町 1～4 北山形 1～2 肴町 下条町 1・4・5 城北町 1～2 城西町 4	滝 山 2	青田南 旭ヶ丘 鳥居ヶ丘 前田町 松見町 松山 1 青田 1～5 白山 南原町 2～3 元木 1～3	南山形・本沢	明石堂 鑄物町 御手作 片谷地 黒沢 城森 菅沢 すげさわの丘 高木 津金沢 百目鬼 二位田 長谷堂 東二位田 松原 東山形 1～2 南松原 1～2 みはらしの丘
西	江南 1～3 下条町 2・3 西田 1～5				
第 8	あさひ町 小白川町 1～5 松波 1～3 緑町 3～4	出羽・明治	あけぼの 1～2 漆山 洪江 新開 1～3 千手堂 伊達城 1～3 中野目 七浦 成安 灰塚 八幡前 東籠野町	南 沼 原	あかねヶ丘 2～3 飯沢 籠田 1～3 沼木 木ノ目田 高堂 1～2 富の中 1～3 長苗代 羽黒堂 深町 前明石 松栄 南石関 南館 1～5 南館西 明神前 若宮 吉原南 吉原 1～3
第 9	梅野木前 土樋 桧町 1～4 馬見ヶ崎 1～4				
第 10	あかねヶ丘 1 霞城町 春日町 清住町 1～3 久保田 1～3 城南町 1～3 城西町 1～3 城西町 5	金 井	内表 内表東 江俣 1～5 北江俣 行才 江南 4～5 志戸田 島 嶋北 嶋南 陣場 陣場新田 陣場南 鮎洗 瀬波 1～3 西江俣 馬上台 東志戸田 南志戸田 横井 吉野宿	西 部	大道端 柏倉 上反田 桜ヶ丘 下反田 常明寺 滝平 富神台 富神前 並柳 東古館 藤沢川 古館 みのりが丘 村木沢 門伝 谷柏 谷地前 芳沢 若木
鈴 川 1	双月新町 双月町 1～4 反町 和合町 和合町 1～3				



# 第三地区

清水 勇

わが地区には神社仏閣が多く、中でも鳥海月山両所の宮、通称お宮様があり、そこには鳥海山大物忌神と月山月読尊の両祭神を祀り、北の総鎮守とされています。正面の仁王門を通りぬけ、手水舎で手と口を清めて本殿に向かう、四ツの狛犬を

通り、鐘を鳴らしてから、二礼二拝一礼と柏手をうって参拝するのが正式です。その右側には、山形最古の社殿城輪神社があり、そこから右手に廻ると、愛宕神社、若宮八幡神社、熊野神社の三社殿が並んでいます。

そして片目の鯉の伝説がある神池には、季節になると、どこからか、県の鳥おしどりが飛来してきて羽を休ませています。一目見ようと大勢の見物客が集まり、これも短い期間しかおらず、さぞかしこの神池が良いのでしょう。

八朔のお一日には、神社総代随神会の面々が一同になり、朝から夜まで神輿をかつぎ、ソリヤーソリヤーと掛け声も勇ましく町中を練り歩き、みんなの健康と家内安全、無病息災を願って神輿を納めるのであります。



## 地域紹介

# わが街自慢

パートII



# 鈴川二地区

武田 忠征

昭和四十三年にバイパスが開通し、町並みも大きく変わりましたが、生活手段も様変わりしましたが、名所、史跡が多く残っております。

静かな自然の山の中に立つ金勝寺もその一つであります。金勝寺誌には遠く千三四十年の開山とあり、臨済宗から曹洞宗へと変わり今に至っており、山形二代の城主斯波直家公の菩提寺でもあります。鈴川にも四ヶ寺の末寺があり、現在の鈴川小学校の敷地に存在した貴福寺が明治に入り全焼、廃寺となり長松寺(印役、龍泰寺(高原)、無量寺(双月)が現存しております。

昔から武人、受験の神様として信仰されている摩利支天さま、有名な五百羅漢が安置されており、それは壮観であります。また深沢不

動尊も信仰されております。他にも早朝登山で賑わう盃山釣りの名所沼の辺は昔、貸しボートが浮かび憩いの場でありました。由緒ある印役神明宮等多くの神社、高原古墳等、近年整備された山家城跡の新しい名所もでき、それぞれに先人達が懸命に生きた深い歴史、証のある町、鈴川であります。



(写真：印役神明宮)

# 安全。適正就業強化月間

二十六年度スローガン

『安全は 一声かける ゆとりから』

安全就業推進委員会 委員長 矢代 鉄也

二十五年度「全国シルバー人材センター」で発生した事故状況を見ま

すと、就業中の重篤事故が昨年度より増加し、一ヶ月以上～六ヶ月未満の入院を要した事故も増加しています。当山形SCの二十五年度の事故は、通勤途上の自転車による事故が一件、除草中の損害事故一件が発生しました。「事故ゼロ」を目指して、「危険、有害な作業を受託しない」「事故の要因分析と具体的な防止策」等の徹底。職群班、地区班と相互協力し、事故防止に取り組みます。

今年度も「全国安全月間」に合わせ、七月を「安全・適正就業強化月間」と定め、全シ協・県連合会、各拠点SCが共に連携し、安全・適正就業対策の推進を図ることといたします。

「主に取り組む事項として」

- 一 重篤事故につながる就業の見直し
- 二 安全保護具の完全着用の徹底
- 三 就業途上における交通事故の防止
- 四 安全就業対策の総点検
  - ・夏期安全パトロールの重点実施と事故要因の把握と対策
- 五 安全標語の募集と優秀作品表彰
- 六 安全就業に係る講習会の開催



# 女性部会だより

女性部会長 村田せつ子

創作品展示即売会は、趣味や特技を生かした手作り品の展示・販売を行うことで、生きがいや、就業機会の確保、センターPRなどを目的とした事業です。  
楽しみ方は三つあります。「作る楽しみ」「見る楽しみ」「購入して使う楽しみ」です。

さらに、自分の作品を選んで買ってもらう喜びと、ちょっとした収入を得るといふうれしい特典もあります。

いつもアイデア満載で、作者の技能と知識があふれた作品が勢ぞろいします。昨年度は、一回目百二十五点、二回目百九十一点合計三百十六点の出品がありました。中でも特に目を引いたのは、男性会員お二人の作品です。高瀬焼の力強い高級器、LEDを取り入れたあんどん。ワイヤー入りのかわいいブローチに、葉っぱの形の素敵なコースター。手作りの輪がどどん広がっています。男性会員の方々にも女性部会の事業の趣旨に賛同していただき、感謝申し上げます。

新年度もスタートし、女性部会の活動もいよいよ開始です。研修会、タオル一本運動、バザーに創作品展示即売会と盛りだくさん！ぜひ一度お気軽にご参加ください。女性部会役員一同心よりお待ちしております。



# 就業会員を訪ねて

## 遠藤 敏和 (山形市野球場)

山形市野球場は霞城公園の一角にあります。園内はちょうど青葉が繁り、色鮮やかな新緑に心が安らぐ思いをしながら、リーダーの遠藤さんにお話を伺いました。野球場では、受付担当と施設整備担当に分かれて十二名の会員が就業しています。

受付担当は野球場と隣接するソフトボール球場のほか、市内五カ所の野球場の利用申込みを受付けております。中体連や実業人野球大会、マスターズなどの社会人野球まで幅広く市民各層の利用があります。ソフトボール球場ではグラウンドゴルフも行われます。利用期間は四月から十一月までですが、ほとんど空きがありません。

また今年、四回目となる東北六魂祭が山形で開催されましたが、イベントのひとつである「六魂Fes」の会場となり、東北復興ライブが行われました。施設整備担当は、野球場とソ



フトボール球場、園内にある弓道場の周囲の除草やスタンドの清掃など、プレーする人や観客が気持ちよく利用できるように整備に当たっております。草の生い茂る初夏から秋にかけての除草や木の葉の舞い落ちる時期は、特に忙しくなります。霞城公園は市民の健康づくりや四季折々の憩いの場でもあります。野球場で働く会員の活躍がその大きな力になっていると思います。

(取材・広報部)

# 新入会員紹介

(4月1日～6月30日迄)

滝山一地区	東沢地区	飯塚・榎沢地区	千歳地区	鈴川三地区		鈴川二地区	第八地区	西地区	第六地区	第四地区	第三地区	第二地区
岩城 博範	相沢 光男	長橋 秀行	瀧口 良子	高橋 正弘	桜井 直子	岡崎 五男	山本 光作	渡邊 吉雄	鈴木 孝雄	工藤 和伸	大築 忠雄	高橋 堅一
						木村 隆一	楯山地区	大郷地区				
	西部地区		南沼原地区	南山形・本沢地区	蔵王地区	楯山地区	伊藤 朋子	関 八郎	佐藤 造	平澤 昭子	出羽・明治地区	滝山二地区
土屋千恵子	佐藤 重勝	栗野 裕子	栗野 完雄	古内 藤一	松田 国明	村上 幸子	伊藤 朋子	関 八郎	阿曾 孝	竹田 芳明	室岡 憲雄	遠田 保昭
												滝山一地区
												大貫 和春

# 事務局だより

山形市シルバー人材センター  
山形市双葉町一丁目二番三号  
電話(0)11-2647164

URL: <http://www.sjc.ne.jp/yamagata/>  
E-mail: [yamagata@sjc.ne.jp](mailto:yamagata@sjc.ne.jp)

## 新事務局職員紹介

ようこそようしく願います。



嘱託職員

米山 知香



就業機会開拓推進員

吉田 和志

## 年度会費は 傷害保険料に充当

会員の皆さんからいただいている年度会費(会員互助会除く)の主な使用内容については左記のとおりです。

会員傷害保険料(一人あたり) 二千百九十円  
総会議案書・会報印刷費等 九百円

(うち、三百十円を充当)



### 配分金支払日

- 七月十八日(金)
- 八月二十日(水)
- 九月十九日(金)

### 入会説明会(午後一時三十分)

会員の皆さんからも入会の勧誘を願います。

- 七月十日(木) 十七日(木)
- 二十四日(木)
- 八月七日(木) 二十一日(木)
- 二十八日(木)
- 九月十一日(木) 十八日(木)
- 二十五日(木)

### 就業相談日(午後一時三十分)

(就業に關しての相談です)

- 七月十日(木)
- 八月七日(木)
- 九月十一日(木)

## 事務局紹介

- 常務理事兼事務局長 笹原 信之
- 業務課長 平田 悦一
- 業務係
  - 係長 武田 千春
  - 主事 原田 弘之
- 嘱託職員
  - 角田 幸恵
  - 吉田 和志
- 就業機会開拓推進員
- 総務係
  - 係長(兼務) 武田 千春
  - 主事 斎藤 康子
  - 嘱託職員 米山 知香

### めんこいひろば 子育て支援コーディネーター

- 川崎真由美
- 斎藤 弘子
- 小笠原詩織
- 山本苑里華

## 訃報

謹んでご冥福を

お祈り申し上げます

- 青木 弘さん(六十七歳)  
(滝山二地区)
- 杉山喜美子さん(七十歳)  
(鈴川一地区)

## あとがき

五月二十四・二十五日に山形市を会場に「東北六魂祭」が開催され、県内外から二十六万人の観光客でにぎわいました。

平成二十二年に東北新幹線が新青森駅まで延伸され、東北六魂の県都がすべて新幹線で繋がれるのを前に、各県で開催されている六つの祭りの主催者が、共同で事業を目指す初めての組織「東北夏祭りネットワーク」が結成されました。そんな矢先、東日本大震災が発生、被災地の悲惨な映像や信仰する福島原子力発電所事故の情報が次々流れ、自粛ムードが広がる中、他方では被災地を支援するため活性化が必要との動きがみられるようになりました。

東北夏祭りネットワークでは、六つの祭りを一ヶ所に集める企画を練り、仙台市で初回「東北六魂祭」が開催されました。早期復興を祈願したいものです。最後になりましたが、会報「シルバーやまがた」一一五号の発行にあたり、大変ご協力頂き有難うございました。